

(3) 第10回総会について

ア. 総会の日程、会場

(ア) 日程 : 平成29年6月17日(土) 13:30~15:00

(イ) 場所 : 未定

イ. 総会の議案

総会の議案については『議案書(案)』をご確認ください。

第 10 回 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会総会

日時 平成 29 年 6 月 17 日(土)13:30 ~ 15:00

会場 未定

- 議案書 (案) -

第1号議案 平成28年度活動報告

平成28年度は下記の内容について活動を実施した。

- (1) 理事会及び総会の開催、交流会の実施
- (2) 第8回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施
- (3) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業
- (4) おきなわサンゴ礁ウィーク2017の実施
- (5) 後援、共催、協賛
- (6) ホームページの維持管理

(1) 理事会及び総会の開催

第19回理事会 (2016年5月16日、沖縄県庁4階第4会議室)

第20回理事会 (2016年7月2日、沖縄県立博物館・美術館 1階博物館講座室)

第9回総会 (2016年7月2日、沖縄県立博物館・美術館 1階博物館講座室)

資料や議事録は協議会のホームページをご覧ください。

<http://coralreefconservation.web.fc2.com/about/rijikai.html>

(2) 第8回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会では、毎年、サンゴ礁の保全意識の向上を目的に『わたしのサンゴ礁』イメージコンテストを実施しており、平成28年度も平成28年11月～平成29年2月にかけて作品を募集し、コンテストを実施した。なお、ご応募いただいた作品は、絵画、写真であり、平成29年2月25日～3月12日の間に沖縄県立博物館・美術館エントランスホールにて展示した。



図1 作品募集チラシ



図2 絵画部門最優秀賞 色の世界
モンテローラ カイラ マリ



図3 写真部門最優秀賞 サンゴ礁のめぐみ～
宮古島狩俣のイラウツアン1 田村 裕

(3) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会では、「対象区域のサンゴ礁の保全に関する活動を推進すること」を目的として、平成23年度から助成事業を実施しており、これまでに16団体が本事業の支援を受け活動を実施した。平成28年度は新たに3団体を採択した。

平成28年度採択団体：わくわくサンゴ石垣島（600,000円）

海の生き物を守る会（600,000円）

泡瀬干潟を守る連絡会（600,000円）

平成28年度 サウジアラムコ サンゴ礁保全活動助成事業

選定された事業の概要

番号	団体名	事業名	採択額 (円)	事業の概要
H28_01	わくわくサンゴ石垣島	石垣島の小学生がサンゴ礁を知り、体験し、愛する！学習プログラム推進	600,000	石垣島の小学校を対象に、知識・体験・保全へのアクションが一体となったサンゴ礁学習プログラムを提供する。助成金により、学習教材作成、コーディネーター/学習講師の人材育成、学習実施を行う。
H28_03	海の生き物を守る会	奄美の沿岸域のエコトーン保全	600,000	奄美大島住用町市集落にて地域住民指導の赤土流入場所のサンプリングを開始しており、サンプリングを続けることでシステムを確立し、沿岸部のエコトーンを守ることの重要性・現在生じている問題点に焦点を置いたシンポジウムを実施し、沖縄・奄美諸島の全てに通ずる問題について、話し合う機会を持つ。
H28_04	泡瀬干潟を守る連絡会	泡瀬干潟の保全～ラムサール条約登録に向けて～	600,000	泡瀬干潟のラムサール条約登録を実現に向けて（埋め立て進行中の場所以外について）、干潟の観察会、簡易パンフレットの作成やセミナーの実施。また現状把握のためにこの夏のサンゴの白化の状況を調査する。ラムサール条約登録に向けても周囲の環境を把握する。

(4) おきなわサンゴ礁ウィーク 2017 の実施

ポスター（200部）とチラシ（10000部）を作成し、県内の小・中・高・大学や関係機関（市町村立図書館・博物館、報道機関、市町村、県関係機関、観光関係団体等）に配布。ホームページやメーリングリスト等で広報を行った。

- 広報資料を用いた周知
- 沖縄タイムスと連携した広報
- ゆいレールへの広告
- Facebook ページを用いた広報



図1. チラシ（表）



図2. チラシ（裏）

(5) 後援、共催、協賛

後援：2016年6月より1年間（ダイドードリンコ株式会社 沖縄オフィス）

「チーム サンゴ・さんご」

2016年10月5日～12月4日（日本サンゴ礁学会第19回大会実行委員会）

「日本サンゴ礁学会第19回大会公開シンポジウム」

共催：2017年2月25日～3月12日（おきなわサンゴ礁ウィーク2017）

おきなわサンゴ礁ウィークの期間中に開催された各イベントはすべて共催として実施。

(6) ホームページの維持管理

サンゴ礁保全に関するイベント情報等を更新した。

第 2 号議案 平成 28 年度収支決算報告

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日までの決算は下記のとおりでした。

歳入	項目	28年度予算	28年度決算	備考
	寄付金収入合計	200,000	572,274	
	沖環科		(24,000)	寄付金内訳
	洋服ポスト		(178,274)	寄付金内訳
	シャボン玉石けん		(150,000)	寄付金内訳
	全県高校生代表者会議グリーンデー募金		(220,000)	寄付金内訳
	助成金	0	0	
	受取利息合計	3,300	197	
	一般会計	300	(23)	受取利息内訳
	アラムコ基金	3,000	(174)	受取利息内訳
	雑収入	0	19,784	支援金返金
	前期繰越金合計	18,493,987	18,493,987	
	一般会計	(2,040,289)	(2,040,289)	前期繰越金内訳
	アラムコ基金	(16,453,698)	(16,453,698)	前期繰越金内訳
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合計	18,697,287	19,086,242	
		\$13.40	\$13.40	

歳出	項目	28年度予算	28年度決算	備考
	アラムコ助成事業	3,002,000	1,432,220	
	助成金	(3,000,000)	(1,369,290)	助成事業内訳
	活動費(振込手数料など)	(2,000)	(4,320)	助成事業内訳
	旅費	(0)	(48,610)	毎日メディアカフェ
	謝金	(0)	(10,000)	毎日メディアカフェ
	一般会計費	2,818,000	2,550,855	
	1. 活動費	960,000	865,242	
	那覇空港写真展	(100,000)	(98,340)	活動費内訳
	イメージ展	(50,000)	(40,000)	活動費内訳
	広報資料作成	(100,000)	(0)	活動費内訳
	サンゴ礁ウィーク	(690,000)	(708,294)	活動費内訳
	振込手数料	(10,000)	(13,608)	活動費内訳
	その他	(10,000)	(5,000)	活動費内訳
	2. 会議費	50,000	60,385	
	3. 消耗品費	0	0	
	4. 旅費交通費	798,000	683,018	
	理事会	(548,000)	(225,132)	旅費交通費内訳
	委員会	(0)	(151,706)	旅費交通費内訳
	審査会	(50,000)	(27,000)	旅費交通費内訳
	サンゴ礁ウィーク実行委員会	(200,000)	(82,580)	旅費交通費内訳
	その他	(0)	(196,600)	
	5. 謝金等	50,000	0	
	6. 通信費	50,000	34,800	
	7. 雑費	10,000	7,878	
	8. 委託費	900,000	899,532	
	9. 協賛金	0	0	
	次期繰越金	12,877,287	13,603,233	
	一般会計	(1,422,589)	(1,081,515)	次期繰越金内訳
	アラムコ基金	(11,454,698)	(12,521,718)	次期繰越金内訳
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合計	18,697,287	17,586,308	
		\$13.40	\$13.40	

財 産 目 録

平成29年3月31日現在

(資 産 の 部)

I 流動資産

1 現金及び預金

1 現 金		82,518	82,518 円
2 預 金			
(1) 普通預金	一般会計口座	1,081,515	
(2) 普通預金	アラムコ口座	14,021,718	
(3) 普通預金	外貨口座 (ドル)	13.40	

15,103,233 円

13.40 ドル

資産の部合計

15,185,751 円

13.40 ドル

(負 債 の 部)

I 流動負債

1. 助成金未払

1,500,000

負債の部合計

1,500,000 円

(正味資産の部)

正味資産

13,685,751 円

13.40 ドル

助成金内訳

平成25年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
宮古島マリンリゾート協同組合	320,000	0	-	181,000	2014/10/24	181,000
ナンハナリサンゴ調査会	600,000	0	-	515,455	2014/11/5	515,455
海の自然史研究所	600,000	300,000	2013/12/10	300,000	2015/1/6	600,000
グローイングコーラル	600,000	300,000	2014/3/27	169,290	2016/12/27	469,290
合計	2,120,000	600,000	-	1,165,745	-	1,765,745

平成26年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
海の自然史研究所	600,000	0	-	600,000	2016/5/23	600,000
海辺の環境教育フォーラム2014 in 沖縄 実行委員会	520,000	260,000	2014/10/17	-2	2015/5/11	259,998
沖縄リーフチェック研究会	600,000	300,000	2014/12/9	257,870	2015/10/20	557,870
合計	1,720,000	560,000	-	857,868	-	1,417,868

平成27年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
海辺の生き物を守る会	600,000	300,000	2016/2/24	300,000	2017/2/21	600,000
合計	600,000	300,000	-	300,000	-	600,000

平成28年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
わくわくサンゴ石垣島	600,000	0				-
海の生き物を守る会	600,000	300,000	2017/4/13			300,000
泡瀬干潟を守る連絡会	600,000	0				-
合計	1,800,000	300,000	-	0	-	300,000

平成28年度財産目録には、平成28年度助成事業の未払金1,500,000円を計上している。

第 3 号議案 平成 29 年度事業計画(案)

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日までの活動（案）を下記のとおり提案します。

- (1) 理事会及び総会の開催、交流会の実施
- (2) 第 9 回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施
- (3) おきなわサンゴ礁ウィーク 2018 の実施
- (4) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業
- (5) ホームページの維持管理
- (6) 後援、共催、協賛
- (7) その他活動に必要な事項
 - ・ 広報資料等の作成

表：平成 29 年度事業計画

平成29年度 事業計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
理事会・総会・交流会		5/2	第21回理事会	6/1	第10回総会、第22回理事会 交流会				未	第23回理事会		
サンゴ礁イメージ展				イメージ展				展示コンテスト 受賞者決定				展示
おきなわサンゴ礁ウィーク2018						準備期間	実行委員会設置	企画決定	イベント公募	会場手配等	取りまとめ・広報など	おきなわ サンゴ礁 ウィーク
サウジアラムコ助成事業			6月下旬	公募	7月下旬	公募締切	8月上旬	助成先選定審査		H28事業成果発表		
ホームページの維持管理												
後援、共催、協賛												
その他活動に必要な事項 ・ 広報資料等の作成												

※事業計画については、変更になる場合があります。

第 4 号議案 平成 29 年度収支予算(案)

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日までの予算(案)は下記のとおり提案します。

歳入	項目	28年度決算	29年度予算	備考
	寄付金収入合計	572,274	200,000	
	沖環科	(24,000)		
	洋服ポスト	(178,274)		
	シャボン玉石けん	(150,000)		
	全県高校生代表者会議グリーンデー募金	(220,000)		
	アラムコ寄付		5,000,000	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金
	助成金	0	0	
	受取利息合計	197	330	
	一般会計	(23)	(30)	
	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(174)	(200)	
	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金		(100)	
	雑収入	19,784	0	
	前期繰越金合計	18,493,987	13,603,233	
	一般会計	(2,040,289)	(1,081,515)	
	アラムコ基金	(16,453,698)	(12,521,718)	
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合 計	19,086,242	18,803,563	
		\$13.40	\$13.40	

歳出	項目	28年度決算	29年度予算	備考
	アラムコ助成事業	1,432,220	3,490,000	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金
	助成金	(1,369,290)	(3,000,000)	
	助成発表旅費		(150,000)	
	活動費(振込手数料など)	(4,320)	(10,000)	
	毎日メディアカフェ旅費	(48,610)	(300,000)	
	毎日メディアカフェ謝金	(10,000)	(30,000)	
	ジュニアサンゴレンジャー事業		810,000	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金
	ジュニアサンゴレンジャー支援		(500,000)	
	ジュニアサンゴレンジャー旅費		(300,000)	
	活動費(振込手数料など)		(10,000)	
	一般会計費	2,550,855	5,355,000	
	1. 活動費	865,242	1,565,000	
	那覇空港写真展	(98,340)	(100,000)	
	イメージ展	(40,000)	(40,000)	
	広報資料作成	(0)	(200,000)	
	サンゴ礁ウィーク	(708,294)	(1,200,000)	
	振込手数料	(13,608)	(20,000)	
	その他	(5,000)	(5,000)	
	2. 会議費	60,385	80,000	
	3. 消耗品費	0	50,000	
	4. 旅費交通費	683,018	750,000	
	理事会	(225,132)	(250,000)	
	委員会	(151,706)	(50,000)	
	審査会	(27,000)	(50,000)	
	サンゴ礁ウィーク実行委員会	(82,580)	(200,000)	
	その他	(196,600)	(200,000)	
	5. 謝金等	0	50,000	
	6. 通信費	34,800	180,000	
	7. 雑費	7,878	10,000	
	8. 委託費	899,532	2,170,000	
	沖環科	414,720	420,000	アラムコ助成事業
	キュリオス沖縄	484,812	650,000	サンゴ礁ウィーク
	NPO法人化		500,000	
	ジュニアサンゴレンジャー		600,000	
	9. 協賛金	0	500,000	サンゴ礁ウィーク沖縄タイムス
	次期繰越金	13,603,407	10,148,763	
	一般会計	(1,081,689)	-(3,073,155)	
	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(12,521,718)	(9,031,918)	一般会計へ300万円
	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金		(4,190,000)	一般会計へ60万円
	アラムコ基金外貨口座	\$13.40	\$13.40	
	合計	17,586,482	18,993,763	
		\$13.40	\$13.40	

平成 29 年度に予定しているアラムコ・アジア・ジャパン株式会社からの寄付は、既存の「サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金」とは別に管理することが寄付の条件となっている。そのため、新たに「アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金」を設立し、ジュニアサンゴレンジャー事業の予算として運用する。

第5号議案 法人化について

2008年に沖縄県サンゴ礁保全推進協議会を設立し、これまでにサウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業などにより会員のサンゴ礁保全への支援を実施してきたところですが、基本理念に基づく協議会の取り組みをさらに前進させるため、将来委員会が設置されました。協議会の最大の目的は会員の相互の情報交換であり、それぞれの保全活動の活性化です。この部分がなかなか動いていないため、将来を見据えた形で議論する場をもつことを目的として、平成27年7月から4回に渡って将来委員会が開催されました。

将来委員会では協議会の役割や理念、運営体制などについて、協議会としての目的を達成するために、どのようにすべきか議論されました。このままの任意団体だと物を買ったり、アルバイト代を支払ったりということが、全て会長の責任となり、団体としての法的行為ができないことや、活動の規模を広げ、税金などの事務上の問題を解決するため、法人化が必要という結論になりました。

当協議会の事業内容としては、今のところ助成事業やサンゴ礁ウィークがメインの活動となっていますが、さまざまな人々を横断的に結びつけるプラットフォームとしての役割を基本とすべきです。そのため、目指すべき法人格としては、NPO法人が望ましいこととなりました。将来的には認定NPO法人を目指します。ただし、事務的な相談を専門機関等に進める中で他の法人格がよい場合は、その都度検討します。NPO法人化の承認とワーキンググループの結成を理事会へ提案し承認されたので、法人化について下記のとおり提案します。

【提案事項】

将来委員会での議論の結果、NPO法人化を目指すことが望ましいこととなった。将来的には認定NPO法人を目指す。ただし、事務的な相談を専門機関等に進める中で他の法人格がよい場合は、その都度検討する。当協議会のNPO法人化と、法人化に向けた実務的な作業をワーキンググループに委託することを提案する。